

令和2年度 第3回朝日スーパーライン写真コンテスト 入賞作品一覧

【会長賞】

三浦 一喜(鶴岡市)「湖面に映えて」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

新緑の鮮やかさが映えて、一幅の絵のように浮かび上がっています。静寂すぎる湖面の反射がシンメトリーとなり、色のない山と対比し、素晴らしい作品となっています。

【副会長賞】

貝沼 カツヨ(村上市)「見返りの滝」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

あえて滝に寄らないで、滝を画面下にすることでよりリアルに奥深い山の険しさと色とりどりの美しさを表現されています。

【優秀賞】

五十嵐 貞一(鶴岡市)「湖面の盛秋」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

構図が素晴らしい。手前の湖水から奥に切れ込み遠近感がよくでています。

【優秀賞】

武谷 捷夫(鶴岡市)「かたくりの群生地」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

春の山地に咲くかたくりの群生を傾斜を使い見事に密集し、奥行き感のある作品です。

秋山 貴信(村上市)「夏から秋へ」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

星景写真で、天の川、山並、街灯と被写体をまとめましたがノイズの処理が気になりました。

陣谷 義和(村上市)「午前の鈴ヶ滝」(撮影:村上市内)

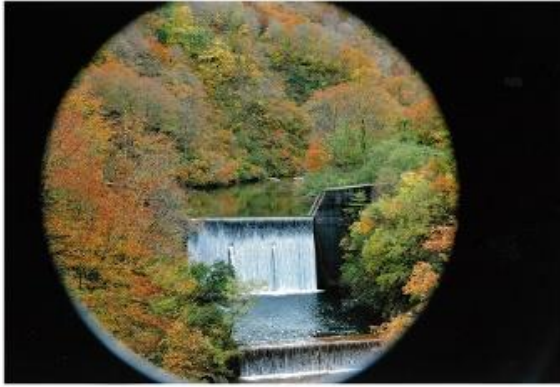


【審査員講評】

鋭く日差しをギリギリに入れ、逆光の中だからこそ、滝の流れに目が奪われます。

【入選】

相田 誠(鶴岡市)「堰堤と紅葉」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

何故に覗きにしたのか分かりませんが、土管を通して撮ったのか、気になる作品です。

小檜山 裕行(宮城県角田市)「里山の情景」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

紅葉の一本の木に目がとまり、田にサルの子供。人家が近いところで、様々な物語が考えさせられます。

五十嵐 貞子(鶴岡市)「モノトーンの清々しい日」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

新雪の後の冬晴れは貴重な時間です。それゆえ、貴重な冬の作品、となりました。

【入選】

齋藤 弘男(鶴岡市) 「燃える秋」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

これ以上の紅葉はないほど、撮影時期が今しかない。ドンピシャでした。

齋藤 勝美(山形市) 「遅い春」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

背景のまだ冬景色といえる中にピンクの艶やかさが印象的です。

山本 和子(村上市) 「ひまわりとパンダ」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

村上市に田んぼアートがあることを知りませんでした。観光写真といえるでしょう。

田村 昭一(村上市) 「青空へ」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

山の中でしょうか、鯉が勢いよく泳いでいる姿は元気そのものです。